

計画事業番号	00451	事務事業名	交通安全推進事業	担当部署	市民環境部市民課	電話	2305
--------	-------	-------	----------	------	----------	----	------

【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務	根拠法令等	道路交通法・北海道交通安全基本条例・北広島市交通安全条例・北広島市交通安全推進員設置規程				
事務事業開始年度	昭和39年度	個別計画等	第10次北広島市交通安全計画				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 3 章) 美しい環境につつまれた安全なまち (第 6 節) 交通安全の推進 (施策 1) 交通安全意識の充実
2 対象	市民等
3 目的と内容	交通安全意識の定着と事故の抑止を図るため、交通安全の広報・啓発や教育活動、通学路等での街頭指導をはじめ、道路危険箇所への注意標識等の設置や公安委員会に対する規制要望等を実施する。 また、交通道德の向上と交通事故防止のための市民運動により交通安全のまちを目指す北広島市交通安全運動推進委員会に交付金を交付して市全体が一体となった交通安全運動を展開する。
4 実施内容(手段)	2017年度まで ①交通安全推進員2名を配置して交通安全教育活動(出前講座等)を実施。 ②交通安全学童指導員7名と交通安全指導員22名を配置して街頭指導及び啓発活動を実施。 ③道路危険箇所に注意標識(電柱幕)等の設置と公安委員会に対し規制標識等の設置を要望。 ④北広島市交通安全運動推進委員会への交付金交付。 【主な活動内容】 ●各種交通安全教室や街頭指導等 ●自動2輪車安全運転講習会、高齢ドライバー交通安全教室、冬道安全運転講習会の実施(市内自動車学校との共催) ●交通安全運動の展開(交通安全情報誌の配布、事故分析「セーフティきたひろしま」の配布、交通安全市民大会、パネル展、交通安全運動期間街頭啓発、サマーセーフティキャンペーン、飲酒運転根絶キャンペーンへの参加、サイクルセーフティラリー等) ●交通安全活動団体(地区交通安全協会・協議会およびこぐまクラブ)への活動費の一部助成 2018年度 昨年と同様に、市内の交通事故の発生状況や危険箇所の把握に努め、これまでの交通安全活動を継続するとともに、札幌方面厚別警察署、市民団体、市内の各事業所などと連携した交通安全活動を展開し、交通事故件数の減少を目指す。

【事業の計画・実績】

2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
交通安全に係る推進員、学童指導員、指導員の配置 注意標識等の設置、公安委員会に対する規制要望 北広島市交通安全運動推進委員会への交付金を交付	交通安全に係る推進員2名、学童指導員7名、交通安全指導員22名の配置 ・注意標識等設置4箇所 ・交通規制要望178件 ・北広島市交通安全運動推進委員会へ交付金(1,793,395円)を交付。	交通安全に係る推進員、学童指導員、指導員の配置 注意標識等の設置、公安委員会に対する規制要望 北広島市交通安全運動推進委員会への交付金を交付	交通安全に係る推進員、学童指導員、指導員の配置 注意標識等の設置、公安委員会に対する規制要望 北広島市交通安全運動推進委員会への交付金を交付	交通安全に係る推進員、学童指導員、指導員の配置 注意標識等の設置、公安委員会に対する規制要望 北広島市交通安全運動推進委員会への交付金を交付	交通安全に係る推進員、学童指導員、指導員の配置 注意標識等の設置、公安委員会に対する規制要望 北広島市交通安全運動推進委員会への交付金を交付	交通安全に係る推進員、学童指導員、指導員の配置 注意標識等の設置、公安委員会に対する規制要望 北広島市交通安全運動推進委員会への交付金を交付	交通安全に係る推進員、学童指導員、指導員の配置 注意標識等の設置、公安委員会に対する規制要望 北広島市交通安全運動推進委員会への交付金を交付

【評価結果・評価コメント】

総合判定		2019年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度2次評価	現状継続	現状継続とする。	「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	市内の交通事故の発生状況や危険箇所の把握に努め、これまでの交通安全活動を継続するとともに、札幌方面厚別警察署、市民団体、市内の各事業所などと連携した交通安全活動を展開し、交通事故件数の減少を目指す。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

【事業費の推移】

(単位:千円)

		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度		
決算額、当初予算額又は推進計画額		14,089	14,588	14,470	14,676		
事業額	直接事業費	国支出金	0	0	0	0	
		道支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他特財	0	0	0	0	
		一般財源	14,089	14,588	14,470	14,676	
	① 合計	14,089	14,588	14,470	14,676		
	人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.15	0.55	0.10	0.45	0.10
③ 1人当り年間平均人件費		8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500
④ =②×③		1,260	2,475	840	2,025	840	2,025
総事業費①+④		17,824	17,453	17,335	17,541		

【評価指標】

指標名		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
活動指標	①北広島市交通安全運動推進委員会交付金	目標値	1,800,000	1,800,000	1,800,000	1,800,000
		実績値	1,793,395			
	②推進員、学童指導員、指導員配置数	目標値	37	37	37	37
		実績値	31			
	③注意標識の設置	目標値				
		実績値	4			
	④公安委員会に対する規制要望	目標値				
		実績値	178			
成果指標	①交通事故発生件数(高速含)	目標値	135	135	135	135
		【指標の定義(算式等)】 実績値	156			
	②交通事故死者数(高速含)	目標値	0	0	0	0
		【指標の定義(算式等)】 実績値	0			
	③交通事故傷者数(高速含)	目標値	160	160	160	160
		【指標の定義(算式等)】 実績値	186			

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	安全で安心なまちづくりにおいて交通安全の推進は必要不可欠であり、市交通安全条例に基づき行政が主体となって交通安全を推進していく必要がある。また、市民団体等と市全体一体となって交通安全運動を展開していくため、推進団体である北広島市交通安全運動推進委員会への交付金の交付は妥当である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	2	平成29年度の交通事故市内発生件数(156件)は、第10次北広島市交通安全計画の目標値(135件)を下回ることができなかったが、過去5ヶ年の事故発生件数は減少傾向にある。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	交通事故の市内発生状況は過去5ヶ年の推移から減少傾向にあり、継続して交通安全運動を推進することにより、更なる交通事故の減少が見込まれる。また、厚別警察署、市民団体等との連携強化を図り、より効果的な取り組みを行うことができる。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	交通安全の推進に必要な不可欠な交通安全推進員、交通安全学童指導員及び交通安全指導員は交通安全に係る各設置規程に基づき配置するとともに、北広島交通安全運動推進委員会に対し交付金を交付し、市全体で一体となって交通安全運動を展開していることから、効果的・効率的に事業を進めている。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】

法律の義務付けあり

法律の義務付けなし

【民間活力の活用性評価】
(事業担当部局が評価)

民間等での実施または市民等との協働が可能である。

民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

計画事業番号	451
--------	-----

<継続用>

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	交通安全運動推進委員会交付金		
交付先の名称及び代表者名	北広島市交通安全運動推進委員会 会長 上野 正三	設立年	昭和39年
構成員(団体)数	市内各団体 52団体 (2018年3月末現在)		
交付先団体等の活動目的	交通道德の向上と交通事故防止のため市民運動を展開し、北広島市を真に明るい交通安全のまちとする。		
交付先団体等の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ●各種交通安全教室～幼稚園等こぐまクラブ、小中高等学校、老人クラブ、自治会等 ●各種交通安全講習会の開催 ～自動二輪車安全運転講習会、高齢ドライバー交通安全教室、冬道安全運転講習会の実施（市内自動車学校との共催） ●広報啓発事業～交通安全情報誌の配布、事故分析「セーフティきたひろしま」の配布、パネル展等 ●街頭啓発活動 ～交通安全市民大会、交通安全運動期間街頭啓発、サマーセーフティキャンペーン、飲酒運転根絶キャンペーンへの参加等 ●交通安全活動団体の育成～地区交通安全協会・協議会及びこぐまクラブへの活動費の一部助成 		
事務局の状況(2017年度)	<input type="checkbox"/> 補助団体にある <input checked="" type="checkbox"/> 市役所にある		
補助金等の充当状況(2017年度)	<input type="checkbox"/> 運営費のみに充当 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費のみに充当 <input type="checkbox"/> 運営費・事業費の双方に充当		

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位：千円)

	区 分	2016年度(決算)	2017年度(決算)	2018年度(予算)	備 考
収 入	本市補助・交付金の額(A)	1,795	1,794	1,800	
	繰越金				
	収入合計(B)	1,795	1,794	1,800	
支 出	報償費	24	24	24	
	需用費	1,038	1,055	1,071	
	負担金補助及び交付金	440	440	440	
	備品	31	17	0	
	旅費	6	2	9	
	役務費	54	54	54	
	負担金補助及び交付金	202	202	202	
	支出合計(C)	1,795	1,794	1,800	
繰越金	収入(B)－支出(C)	0	0	0	
全体支出に対する本市補助・交付金の割合 (A)÷(C)		100 %	100 %	100 %	
補助・交付金の対象経費 (項目)		全項目	全項目	全項目	
補助・交付金の対象経費 (金額) (D)		1,795	1,794	1,800	
対象経費に対する補助または交付金の割合 (A)÷(D)		100 %	100 %	100 %	
補助・交付金の算出根拠		定額補助			